

22

編集したデバイスのデータを 戻したい！

22.1	編集したデータを接続機器に戻してみよう！	22-2
22.2	設定ガイド	22-5

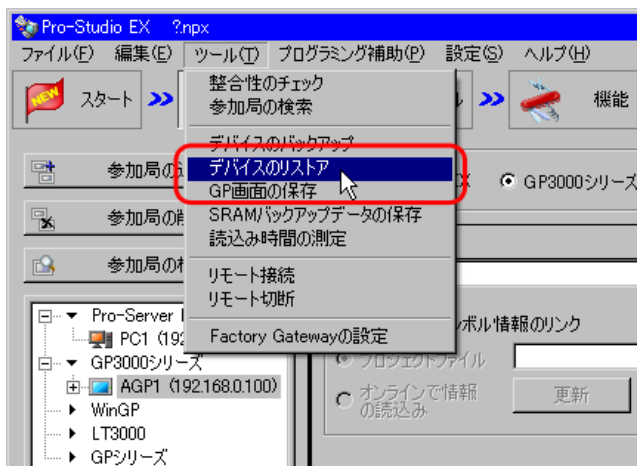
22.1 編集したデータを接続機器に戻してみよう！

編集したデバイスデータを、元のデバイスに戻すことができます。(リストア)

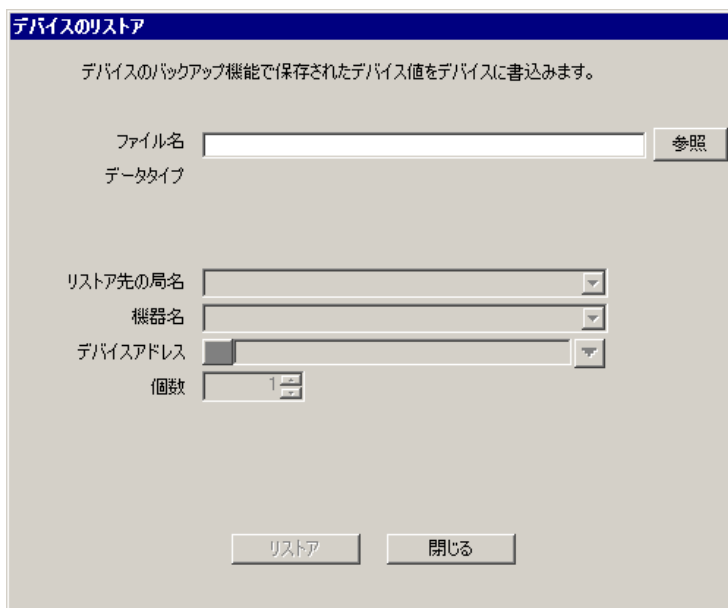
MEMO

- リストアは、連続したデバイスデータが対象となります。
- デバイスデータのバックアップについては、前項の「第 21 章 現状のデバイスのデータを編集したい！」をご覧ください。

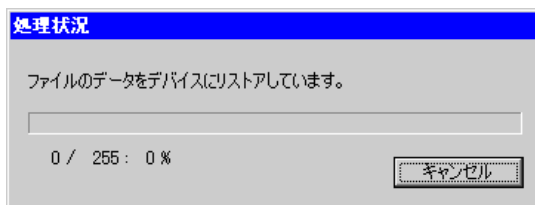
- 1 メニューバーの [ツール] から、[デバイスのリストア] をクリックします。



- 2 「デバイスのリストア」画面の各項目を設定し、[リストア] ボタンをクリックします。



「処理状況」画面が表示され、リストア処理の経過が表示されます。



- MEMO** • 「デバイスのリストア」画面で設定した内容が正しくない場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージの内容	対処方法
ビット型のシンボルはビット型以外のデータのリストアには指定できません。	[デバイスアドレス] にビット型のシンボルを設定している場合、ビット型以外のデータをリストアすることはできません。[デバイスアドレス] にビット型以外のシンボルを設定し直してから、リストアを実行してください。
ビット型以外のシンボルはビット型のデータのリストアには指定できません。	[デバイスアドレス] にビット型以外のシンボルを設定している場合、ビット型のデータをリストアすることはできません。[デバイスアドレス] にビット型のシンボルを設定し直してから、リストアを実行してください。
指定したファイルは不正です。	[ファイル名] に、旧バージョン (V4.0) の『Pro-Server』でビット型のデータをバックアップしたファイルを設定すると、リストアは実行できません。[ファイル名] に、別のファイルを設定し直してから、リストアを実行してください。
リストアするデータの個数が不正です。	リストアするデバイスの個数を最大個数におさめ、リストアを再度実行してください。 リストアできるデバイスの最大個数は、そのデバイスのデータタイプなどにより異なります。
デバイスアドレスが不正です。またはデータタイプをサポートしていません。	[デバイスアドレス] をアクセス可能なデバイスアドレスまたはシンボルに設定してからリストアを再度実行してください。

データが正常にリストアされると、「デバイスのリストアは正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、処理を終了します。



22.2 設定ガイド

デバイスのリストア

デバイスのバックアップ機能で保存されたデバイス値をデバイスに書き込みます。

ファイル名

データタイプ

リストア先の局名

機器名

デバイスアドレス

個数

設定項目	設定内容
ファイル名	デバイスデータがバックアップされているファイル名を設定します。 [参照] ボタンをクリックしてファイルを指定するか、直接入力します。

設定項目	設定内容																																																										
データタイプ	<p>[ファイル名] で設定したデータファイルに対応したデータタイプが、下表のように表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="463 314 1215 1541" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ファイルフォーマット</th> <th>データタイプ</th> <th>書き込み形式</th> <th>表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">BIN</td> <td>ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>ビット</td> </tr> <tr> <td>8ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>8ビット</td> </tr> <tr> <td>16ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>16ビット</td> </tr> <tr> <td>32ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>32ビット</td> </tr> <tr> <td>64ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>64ビット</td> </tr> <tr> <td>文字列</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>文字列</td> </tr> <tr> <td rowspan="16" style="text-align: center;">CSV</td> <td>ビット</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>ビット</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">8ビット</td> <td>符号なし 10進</td> <td>8ビット 符号なし 10進</td> </tr> <tr> <td>符号あり 10進</td> <td>8ビット 符号あり 10進</td> </tr> <tr> <td>16進</td> <td>8ビット 16進</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">16ビット</td> <td>符号なし 10進</td> <td>16ビット 符号なし 10進</td> </tr> <tr> <td>符号あり 10進</td> <td>16ビット 符号あり 10進</td> </tr> <tr> <td>16進</td> <td>16ビット 16進</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">32ビット</td> <td>符号なし 10進</td> <td>32ビット 符号なし 10進</td> </tr> <tr> <td>符号あり 10進</td> <td>32ビット 符号あり 10進</td> </tr> <tr> <td>16進</td> <td>32ビット 16進</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">64ビット</td> <td>符号なし 10進</td> <td>64ビット 符号なし 10進</td> </tr> <tr> <td>符号あり 10進</td> <td>64ビット 符号あり 10進</td> </tr> <tr> <td>16進</td> <td>64ビット 16進</td> </tr> <tr> <td>文字列</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>文字列</td> </tr> </tbody> </table>	ファイルフォーマット	データタイプ	書き込み形式	表示	BIN	ビット	-	ビット	8ビット	-	8ビット	16ビット	-	16ビット	32ビット	-	32ビット	64ビット	-	64ビット	文字列	-	文字列	CSV	ビット	-	ビット	8ビット	符号なし 10進	8ビット 符号なし 10進	符号あり 10進	8ビット 符号あり 10進	16進	8ビット 16進	16ビット	符号なし 10進	16ビット 符号なし 10進	符号あり 10進	16ビット 符号あり 10進	16進	16ビット 16進	32ビット	符号なし 10進	32ビット 符号なし 10進	符号あり 10進	32ビット 符号あり 10進	16進	32ビット 16進	64ビット	符号なし 10進	64ビット 符号なし 10進	符号あり 10進	64ビット 符号あり 10進	16進	64ビット 16進	文字列	-	文字列
ファイルフォーマット	データタイプ	書き込み形式	表示																																																								
BIN	ビット	-	ビット																																																								
	8ビット	-	8ビット																																																								
	16ビット	-	16ビット																																																								
	32ビット	-	32ビット																																																								
	64ビット	-	64ビット																																																								
	文字列	-	文字列																																																								
CSV	ビット	-	ビット																																																								
	8ビット	符号なし 10進	8ビット 符号なし 10進																																																								
		符号あり 10進	8ビット 符号あり 10進																																																								
		16進	8ビット 16進																																																								
	16ビット	符号なし 10進	16ビット 符号なし 10進																																																								
		符号あり 10進	16ビット 符号あり 10進																																																								
		16進	16ビット 16進																																																								
	32ビット	符号なし 10進	32ビット 符号なし 10進																																																								
		符号あり 10進	32ビット 符号あり 10進																																																								
		16進	32ビット 16進																																																								
	64ビット	符号なし 10進	64ビット 符号なし 10進																																																								
		符号あり 10進	64ビット 符号あり 10進																																																								
		16進	64ビット 16進																																																								
	文字列	-	文字列																																																								
	リストア先の局名	<p>リストア先の参加局を選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">MEMO</div> <ul style="list-style-type: none"> • リストには、ロード中のネットワークプロジェクトファイルに登録されている参加局が表示されます。 																																																									

設定項目	設定内容
機器名	リストア先の接続機器を選択します。
デバイスアドレス	リストア先となるデバイスアドレス（またはシンボル）を入力します。初期状態では、[ファイル名] 設定時に、そのファイルに保存されている先頭アドレスが表示されています。
個数	リストアするデバイスの個数を入力します。 初期状態では、[ファイル名] 設定時に、そのファイルに保存されているデータの個数が表示されています。

